



SAGA…祝！日立市開催決定

先週末から今週にかけて高知県立のいち動物公園へ行ってきました。目的は今年のSAGA16シンポジウムを視察するためです。いきなりSAGA（サガ）って言われても何のことかわからない方もいると思いますが、私もこちらの世界へきて始めて知りました。SAGAとは、ある目的に対する集まりというか集いの英語表記の略称で、その目的とは、「Support for African/Asian Great Apes」つまり「アジア・アフリカに生きる大型類人猿を支援する集い」ということとなります。今地球上から急速に数を減らしつつあるチンパンジーやゴリラ、オランウータンなど、大型類人猿の現状と将来について考える集いで、研究者や飼育者にとどまらず大型類人猿に関心のある方ならだれでも参加できます。

（詳しくは公式ホームページをご覧ください [「サガ」についての説明 SAGA アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い](#)（新しいウインドウが開きます））



《平成25年の会場・高知県立のいち動物公園》

SAGAは1998年（平成10年）に発足し、第1回目のシンポジウムが犬山市で開催されました。事務局を京都大学霊長類研究所内におき、以来、東京、名古屋、大阪など主に大都市を中心に全国各地で毎年シンポジウムを開催し、今年（平成25年）は高知、そして来年（平成26年）はナント日立市で開催することが高知の世話人会で正式に決まりました。当園からも、毎年担当飼育員が個人的に参加していましたが、全国からたくさんの方がお越しいただくということになれば、市（園）をあげて一緒になって運営協力する必要があります。そのため、今年の状況を視察してきたという次第なのでした。



《熱気あふれる会場》

当園でもチンパンジーを飼育しており、つい昨年（平成24年）まではゴリラも飼育していました。動物園の動物たちに優劣をつけるわけではありませんが、やはり彼らは私たちと分類上の科を同一とするだけあって、SAGAのいうところの「進化の隣人」という言い方は毎日の行動観察でぴったりくる感じがあります。あるメス個体は、私を認めると遠くからでも、上下左右に体を揺らし唇を開けて独特のポーズで招きます。特に発情期に顕著になります。当園にいる1歳と2歳のチンパンジーの異母姉弟のじゃれ合いは、見ていて微笑ましく、人間の子どもと何ら変わりません。またゴリラのダイスケが昨年亡くなる時、チューブと点滴だけの状況は、まさに人間の最期を看取るがごときでした。

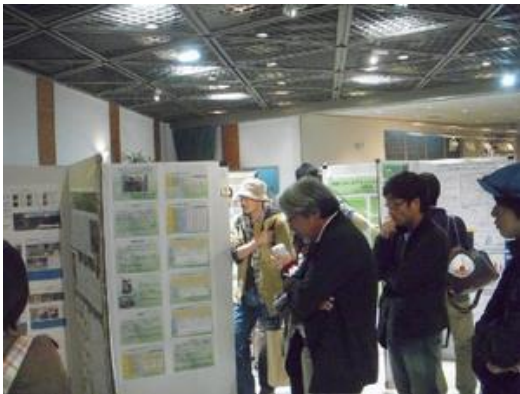


《進化の隣人》

今年の高知では、のいちで生まれたふたごチンパンジーの行動や他個体との関係、人間のふたごとの違いなどが紹介されました。当園からは山内飼育員が、ゴウとリョウマの2頭の赤ちゃんチンパンジーが母子とともに群れ復帰を果たしたことを紹介しました。また、2日目は高知県で絶滅したとされるニホンカワウソの考察のほか、同じ高知県内のツキノワグマやオオイタサンショウウオの現状と問題など、地元ならではの話題が提供されました。SAGAでは、大型類人猿の考察を軸としながらも、各地でのシンポジウムではその土地・動物園ならではの話題提供もOKとのスタンスになってきているようです。全国各地を巡るシンポジウムならではの発想だと思います。



《山内飼育員による当園の発表》



《ポスター発表》

動物園ではたくさんの動物たちを飼育展示することで、野生や自然を取り巻く現状や環境を知ってもらうきっかけになればと考えます。まさにSAGAの取り組みと相通ずる部分があると思います。来年の開催は、大型類人猿の現状や人間とのかかわりなどをより広範囲の人に知ってもらうと同時に、動物園もさることながら、茨城県や日立市のカラーも出せるようなシンポジウムにできればと、思っています。

SAGA17、開催は平成26年11月15日（土曜日）から16日（日曜日）、会場は日立駅前の日立シビックセンターです。もちろん動物園のツアーも予定します。関心のある方は無料でどなたでも参加できますので、来年の手帳を買ったら真っ先に予定を入れちゃいましょう。



《来年お会いしましょう》

どうぶつのくに連載中 [「あっ、かみね動物園だ！」VOL.7](#)（新しいウインドウが開きます）

過去の一覧

[令和6年](#)

[令和5年](#)

[令和4年](#)

[令和3年](#)

[令和2年](#)

[令和元年](#)

[平成30年](#)

[平成29年](#)

[平成28年](#)

[平成27年](#)

[平成26年](#)

平成25年

[平成25年12月](#)

[平成25年11月](#)

[平成25年10月](#)